



介護保険制度を学んで新年会 宮北支部

1月15日(土)宮北支部新年会が宮北支所で開かれ、28名(組合員22名、職員6名)が集まりました。

来賓の藤井健太郎県会議員が「和歌山の医療、福祉を守るためにがんばります」と県政報告をかねてあいさつしました。また、和歌山市政をよくしたいと松坂美知子さんは、「同じ地域の暮らす者としてお役に立ちたい」とあいさつしました。

その後、満生理事は宮北支部の増資目標達成の労をねぎらい、藤沢事務長がリニューアル完成の報告とお礼をしました。病棟師長から、生協病院の7対1看護を維持し、よりよい医療を行なっていくために、ご近所に住む看護師さんを紹介してくださいと組合員さんに訴えました。

宮北支部の新年会で恒例となっている学習会は、「介護保険制度について」、支援センターの職員も参加し、支援センターでの介護の対応の説明や、申請の手続きの方法などが説明され、参加者からの質問にもていねいに答えられました。

昼食はお寿司と組合員さんが作った豚汁をみんなでいただき、ビンゴゲームを行ない楽しみました。最後に東地区担当の坂口が大腸がん健診のお勧めを行い閉会となりました。



みんなで協力して楽しく続けているシニアエクササイズ

東地区シニアエクササイズ班が新年会

1月13日(木)東地区シニアエクササイズサークル班の新年会が多目的ホールで行なわれました。転倒予防、筋力アップを続けている組合員さんら17名が参加しました。

おとしの12月からサークルが開始し、丸1年続いています。自主的に活動を行い、新しい仲間を増やしつ、班長の宇城さんを中心にみんな仲良く毎週続けています。

新年会ではサークル員16名でテーブルを囲んでお弁当をいただきました。担当の坂口が「このサークルができて1年たちますが、すっかり定着して良かった。シニアエクササイズの内容が良いこともあると思いますが、みんなで協力して楽しくしているのが続いている要因だと思います。本当に医療生協らしい活動で、立ち上げてよかったです。」とあいさつしました。昨年の12月には新しい仲間も1人増え、ますます活発になっていくサークルです。



班長・班交流集会



と き 2011年2月9日(水)
午後2時~4時30分(受付開始は1時30分)
と ころ 中央コミュニティセンター 1階多目的ホール

交流会で班の大切さ再発見や!!

「班」は医療生協の基礎といわれています。和歌山中央医療生協の班は233班あって、その内134班が11月末までに班会を行っています。のべ600回の班会開催です。暮らし向きなどの変化で、地域における人と人との絆や家族の機能が失われている中で、医療生協の班は貴重なコミュニティの場となります。楽しくて、役に立つ班が地域にいっぱいあれば、いのちの分野での協同の輪が大きくなります。医療生協の班の大切さを再発見するために、すべての班長さん、ぜひご参加下さい。



和歌山中央医療生活協同組合

2010年度仲間ふやし状況

	東地区			中地区			南地区			河西地区			那智地区			海南海草地区			その他			計		
	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残
4/1~12/31	500	304	196	100	16	84	100	57	43	100	51	49	100	46	54	70	54	16	30	31	0	1000	559	441
1/1~18現在		11	185		1	83		1	42		6	43		3	51		1	15		1			24	417
計		315	185		17	83		58	42		57	43		49	51		55	15		32	0		583	417
到達率	63.0%			17.0%			58.0%			57.0%			49.0%			78.5%			106%			58.3%		